



SecurePlatform Pro

チェック・ポイント・インテリジェント・セキュリティ・ソリューション専用として強化されたオペレーティング・システム

課題

一般的にセキュリティ・プラットフォームを選択する場合、容易性と柔軟性のどちらかを選択しなければならないのが現状です。セキュリティ・アプライアンスの容易性を優先させるのであれば、ニーズの変化に応じた技術を取り込むための柔軟性を諦めなければならないことが少なくありません。安価で柔軟性を兼ね備えたオープン・サーバ上にセキュリティ・ソリューションを導入すれば、カスタマイズもしくは「強化」して安全性やセキュリティを確保する必要がありますが、通常そのような作業は簡単に行なえるとは言えません。予算と管理リソースの数が限られているにも関わらず、容易性と柔軟性のいずれかを選択しなければならない現在の多くの状況で、各種組織はセキュリティと優れたTCOの両立が求められています。

解決策

さまざまなセキュリティ強化を施したオペレーティング・システム(OS)であるSecurePlatform™ Proは、アプライアンスが必要とする容易性と内蔵セキュリティにより強化されたOS上で稼動するオープン・サーバによる柔軟性を兼ね備えています。業界をリードするチェック・ポイントのセキュリティ・ソリューションであるVPN-1® Pro™やVPN-1® Express™を、チェック・ポイントによりセキュリティ強化が施されたOSであるSecurePlatform Pro上にインストールし稼動させることが可能で、非常に短時間でコストパフォーマンスの高いIntelまたはAMDベースのオープン・サーバを利用した、エンタープライズ・レベルのセキュリティ・システムを構築することが可能になります。

簡単な導入、簡単操作でのセキュリティ構築

SecurePlatform Proをプラットフォームとして利用することにより、管理者は業界でトップ・シェアを誇るチェック・ポイントのVPN-1®ゲートウェイおよび管理サーバであるSmartCenter™をわずか5分以内で、IntelまたはAMDベースのオープン・サーバにインストールすることができます。また、SecurePlatform Proを利用すれば、OSに含まれる使用しない機能の一部または全てをアンインストールする作業や、セキュリティ上問題が発生しないための再設定を管理者自身がインストール時に行なう必要は無く、また、新たな脆弱性が発見された場合に修正パッチをマニュアルで適用する手間を省略することが可能になります。SecurePlatform Proは、もっとも厳しいセキュリティ・レベルが必要とされるネットワーク環境においても安心して利用できるセキュリティ対策済みのOSを提供します。

SecurePlatform Proをベースとして利用した場合のVPN-1ゲートウェイは、専用アプライアンス利用時と同様に導入が簡単で、優れた投資効果を実現します。万が一アプリケーション層のワームなどの新しい攻撃に遭遇した場合や、VoIPなどの新しいプロトコルを導入する場合には、SecurePlatform Pro上で動作するVPN-1ゲートウェイは新たな要求に合わせて拡張することが可能です。また、SecurePlatform Proはハードウェアおよびドライバを幅広くサポートするため、セキュリティ・ニーズの進化に合わせてハードウェア構成を変更することができます。



製品の概要

SecurePlatform Pro™は、容易に入手可能なIntelまたはAMDベースのオープン・サーバを管理者が、わずか5分以内でセキュリティ強化された高性能なセキュリティ・アプライアンスを構築することを可能にします。広範な動的ルーティング、マルチキャスト・プロトコルのサポート、管理者サポートの集中管理なども提供します。

製品の特徴

強化・設定済みのセキュリティ・プラットフォームをオープン・サーバ上に約5分でインストール

統合されたルーティングとマルチキャスト・プロトコルをサポート

管理権限のプロビジョニングを集中管理

製品の利点

セキュリティ・インフラストラクチャの信頼性を大幅に向上

代表的なマルチキャスト・アプリケーションへのトラフィック・セキュリティを強化

エンタープライズ・クラスのセキュリティをオープン・サーバ上へ容易に導入

支店・支社環境におけるルータをリプレースし利用できる幅広い機能を提供



Intelligent Security

チェック・ポイントは、境界、内部、WEBなど、ネットワークのあらゆる局面に対するセキュリティ・ソリューションを提供します。これにより、企業はネットワークや、ネットワーク・リソース等を安全に保護しながら、高い接続性を実現するリモート・アクセスを提供し、簡単に管理することができます。

高度なルーティングと導入シナリオ

優れた拡張性、耐障害性およびセキュリティを兼ね備えたネットワークの構築を検討している企業は、SecurePlatform Proを導入することで、BGP、OSPF、RIPv1、RIPv2などの業界標準のダイナミック・ルーティング・プロトコルをVPN-1ゲートウェイで利用することができます。高度なルーティング・プロトコルをVPN-1ゲートウェイに統合することで、SecurePlatform Proは冗長性、高可用性、そして高いセキュリティ性を兼ね備えたゲートウェイ・クラスタの作成を実現します。OSPF、RIPv1、RIPv2を利用すると、例えば1つの部署、企業、サービス・プロバイダなどの単位での単一の自律システム上でダイナミック・ルーティングを使用できるため、ネットワーク障害を回避することができるようになります。BGPでは、企業が複数のサービス・プロバイダを利用したり、ネットワークをいくつものセグメントとして分割し、各管理者にそれぞれのセグメントの管理を担当させるなど、複数の自律システムが関与する複雑なネットワーク全体におけるダイナミック・ルーティングのサポートを提供します。

SecurePlatform Proには、IGMP、PIM-DM、PIM-SMなどのマルチキャスト・プロトコル・サポートも統合されています。SecurePlatform Proがマルチキャスト・プロトコルを統合したことで、VPN-1ゲートウェイは、株式ティッカーやテレビ会議など、どのマルチキャスト・セッションをどのネットワークに転送するか等の設定を、効率のかつ効果的に管理できるようになりました。

加えて、SecurePlatform Proは、ダイナミック・ルーティング環境下での負荷分散とダイナミック・ルーティング・プロトコルの瞬時のフェイルオーバーもサポートしているため、万が一のネットワーク障害発生時の復旧に要する時間を最小限化します。VPN-1ゲートウェイで障害が発生した場合にバックアップ・ゲートウェイに即時に経路を切り替える機能は、クラスタ構成内で1つのセキュリティ・ゲートウェイで障害発生時に、ネットワーク上の他のルータが相互に通信して元の経路が有効であっても代替経路を見つけようとする機能で、チェック・ポイント製品特有の機能です。この機能によりいかなる状況下においても、ネットワークの完全ダウンを防ぎます。

ダイナミック・ルーティング・プロトコル	マルチキャスト・プロトコル
BGP	IGMP
OSPF	PIM-DM
RIPv1	PIM-SM
RIPv2	

容易なセキュリティ管理

SecurePlatform Proのさまざまな機能は、Webインタフェースまたは業界標準のコマンドライン・インタフェース(CLI)のいずれかを用いて管理します。Webインタフェースを使用した場合、管理者は、ネットワーク関連の設定変更、新しい製品ライセンスのインストールによる機能の追加、新しいバージョンの SecurePlatform Proへのアップグレードなどを、使いやすい単一の管理インタフェースから簡単に行うことができます。ルーティングを担当するネットワーク管理者のトレーニング費用を低く抑えるため、ルーティングとマルチキャスト・プロトコルを設定・管理するための標準のCLIコマンドも装備されています。

複数の管理者によるネットワーク管理を簡易にするため、SecurePlatform Proは中央管理型のRADIUSサーバを使用して、SecurePlatform Proの設定管理を行う管理者権限を個々の管理者が持つ管理権限に応じて設定できます。管理者権限を中央管理することで、アカウント設定や管理への負担が低減するだけでなく、矛盾の無いセキュリティ権限を設定し、一貫した管理スキームを通じてSecurePlatform Proの導入および運用を確実とします。

©2003-2005 Check Point Software Technologies Ltd. All rights reserved.
Check Point, Application Intelligence, Check Point Express, Check Pointのロゴ, AlertAdvisor, ClusterXL, Cooperative Enforcement, ConnectControl, Connectra, CoSa, Cooperative Security Alliance, Eventia, Eventia Analyzer, Firewall-1, Firewall-1 GX, Firewall-1 SecureServer, FloodGate-1, Hacker ID, IMSecure, INSPECT, INSPECT XL, Integrity, InterSpect, IQ Engine, Open Security Extension, OPSEC, Policy Lifecycle Management, Provider-1, Safe@Home, Safe@Office, SecureClient, SecureKnowledge, SecurePlatform, SecuRemote, SecureXL Turbocard, SecureServer, SecureUpdate, SecureXL, SiteManager-1, SmartCenter, SmartCenter Pro, Smarter Security, SmartDashboard, SmartDefense, SmartLTM, SmartMap, SmartUpdate, SmartView, SmartView Monitor, SmartView Reporter, SmartView Status, SmartViewTracker, SofaWare, SSL Network Extender, Stateful Clustering, TrueVector, Turbocard, UAM, User-to-Address Mapping, UserAuthority, VPN-1, VPN-1 Accelerator Card, VPN-1 Edge, VPN-1 Pro, VPN-1 SecureClient, VPN-1 SecuRemote, VPN-1 SecureServer, VPN-1 VSX, VPN-1 XL, Web Intelligence, ZoneAlarm, ZoneAlarm Pro, Zone Lab, Zone Labsのロゴは、Check Point Software Technologies Ltd. およびその関連会社の商標、サービス・マーク又は登録商標です。その他の企業、製品名は各企業が所有する商標または登録商標です。本書で記載された製品は米国の特許No.5,606,668, 5,835,726, 6,496,935、および6,850,943により保護されています。その他の米国における特許や他の国における特許で保護されているか、出願中の可能性があります。

P/N 501782-J 2005.05 記載された製品仕様は予告無く変更される場合があります。



We Secure the Internet.

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-5-3 建成新宿ビル6F
<http://www.checkpoint.co.jp/> E-mail: info_jp@checkpoint.com Tel: 03(5367)2500